

# 思い出の教育誌 「昭和初期」(一)

——福生尋常高等小学校平面図を眺めて——

高崎伊平

学校めぐり

## 二字型校舎と新校舎

二字型校舎は、明治四十二年（一九〇九）三月二十七日新築落成され、玉川上水のほとりにあった宮本校舎から、現在の場所に移りました。この時の学級数は、七学級。児童数は、三三九名。その内高等科は、三・四年生が一学級を構成し四〇名の在籍でした。

二階建新校舎は、大正十四年五月二日新築落成され、教室数は六教室で打抜教室を持っていました。

この時の学級数は、尋常科十一学級、児童数は五一二名。高等科は二学級で生徒数は、七二名でした。

## 学制について

福生尋常高等小学校に高等科が併置されたのは、明治

二十五年（一八九二）でした。尋常科高等科各四年制で、校名は東多摩尋常高等小学校でした。

明治四十一年（一九〇八）に小学校令が改正され、それに伴って、尋常科を五学年とし、高等科を二・四年としました。明治四十五年（一九一二）には、完全な形で、尋常科六学年、高等科二学年となりました。

昭和十六年（一九四一）からは、国民学校令が施行されて尋常科は、初等科と名称が変わりましたが、この形は、昭和二十二年（一九四七）六・三制の発足まで続きまし

## 1、校舎内めぐり

正面玄関を入ると何となく静しゅくな感じになりました。両はじに職員の下駄箱と来賓の下駄箱が並んでいました。壁には、旧式の村田銃が飾られていました。玄関





昭和初期の第一小学校（高崎弥太郎氏所蔵）

を右に曲ると応接室兼校長室。そこには招待リレーでいただいた優勝旗があり、子どもの目には印象的に写りました。隣は職員室、先生方が机を並べて仕事をしています。

した。そのはじに標本棚があり珍らしい鳥や貝その他の標本が並んでいて、それを眺めるのが一つの楽しみでもありました。

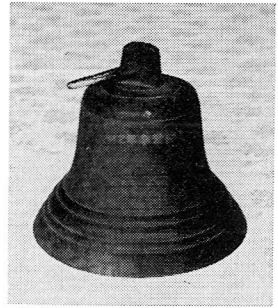
理科室兼音楽室は、階段教室でも珍らしい教室でした。理科の教師実験などは、一人ひとりの子どもがよく見られ自慢の教室でした。

新館へ渡りますと一階二階各三教室で、新しい雰囲気。新館へ渡りました。階段の手すりに馬乗りになってすべり、先生方によくしかられました。

四年生の時新校舎一階教室になり、郡の国語研究授業で「コロンブスの卵」という教材を勉強しました。大勢の先生が後や横にいっぱいいて、子ども心に緊張しました。

翌日先生が「とてもうまくいったよ。うちの学校の先生方は、よその学校へ行って、うんと意見を言ってくるから、ひやひやしていたんだが、めあてと違った意見があっただけでうんとほめられたよ。」と嬉れしそうに話してくれました。

正面玄関を左に折れると、西端教室に、通称北海道教室がありました。日陰の教室で冬はものすごく寒いのです。そのため冬になるとこの教室だけは、他より早く一米四方の火鉢に炭火が入られます。先生が時々交替で手をあたたためさせてくれました。



時間を知る鐘(一小所蔵)

うら教室では、一年生の時が小使室の前の教室でした。便所や小使室に近いと言うことだったのでしょうか。石板と石筆で勉強したのが目に写っています。

雨天体操場は、はじ

めはコンクリの床でしたが、やがて板ばりになりました。雨の日はよく遊んだものでした。

目に浮かぶ銃器庫は、雨天体操場の隣りにありました。そこには、三八式歩兵銃、背のう、銃剣道のタンポ(木銃)や剣道具などがずらりと並んでいました。青年訓練所の人が銃の手入れをしたり銃剣道などを時々していました。

小使室では、なんと言っても弁当をあたためてくれる金ぞく製の網棚。朝学校へいくと弁当箱をそこへ入れて置きます。昼にお腹をすかせていくと、遠くからごはんのいいにおいがしてきます。腹はキュウツと言うし、思わず口もとがゆるみました。

小使さんの大きな仕事の一つに「時間を知る鐘」を鳴らすことがあります。小使いさんが鳴らせない時は、先生方が鳴らしておられたようです。どんなところ

にいても時計を気にしながら仕事をしなければならなかったと思うと、ほんとうにごくろうさまと申し上げたい気持ちです。これによって、学校の日課が滞りなく進んでいったのです。

#### 青年の教育

#### 冬の夜学校

明治期は、小学校四年を終ると、実社会へ出て働く人が殆んどでした。この人達を対象として、その余暇を利用した冬の夜学が開設されたのが、明治三十八年(一九〇五)頃からでした。

#### 実業補習学校

福生尋常高等小学校では、大正二年(一九一三)六月に男女補習学校を併設しました。四年後の大正六年(一九一七)の男子補習校生徒の数は、一・二年が一学級で三二名、三・四年が一学級で二六名、女子は二二名でした。

大正九年(一九二〇)には、男子、予科一七名、本科五四名、研究科一〇名計八一名。女子、本科四一名でした。

大正十一年(一九二二)には、福生公民農学校と名称を改め、更に大正十五年(一九二六)、農業公民学校と

校名変更が行われ、同年七月一日青年訓練所が創設されました。修業年限は、前期二ヶ年、後期、男子四ヶ年、女子、三ヶ年とされました。

### 青年学校の誕生

昭和十一年（一九三六）には、前年（一九三五）の青年学校令公布にもなつて、農業公民学校及び青年訓練所を併合して青年学校が生れました。

修業年限は、男子本科五年、女子本科三年とされ、戦後の六・三制の発足まで続きました。

青年訓練所の銃器庫の内容やうら校舎東端の裁縫室などは、青年の教育の一端を写し出していました。これらの流れの中で、大多数の青年の方が勉強されたのだと思うと、何かにしみるものを感じます。

### 2、校舎外めぐり

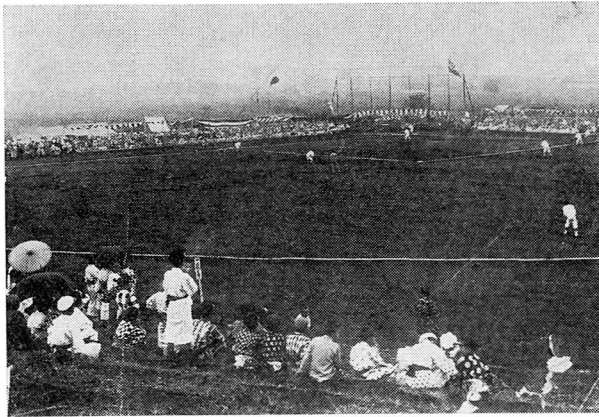
#### 運動場

四月の入学式の頃は、学校の桜が三分咲きぐらいになります。二字型校舎建築の際当時の方々が植えられたという桜が古木となって花開き、子ども達をやさしく迎えてくれます。

運動場は、広々としていました。六歳の一年生から、十三歳の高等科二年生まで年齢差のある大勢の子どもを

大きく包んでくれました。

百米コースは直線であつてありました。徒競走の練習では、前傾姿勢、足のはこび方、中間姿勢、テープの切り方など厳しく指導され練習に汗を流しました。二〇〇米では、コーナーの取り方走り方を特に指導されました。学校では、昭和十年頃から体操が盛んになり、鉄棒、横木、ろく木、跳箱等の運動や組体操などめきめきと上



昭和6年の福生グラウンド（田村貞子氏提供）

達し郡内の先生方がよく見学に來られました。

運動会は楽しみの一つで、遊びなどは珍らしく、「天然の美」などの遊びもこの頃のものかと思えます。男子の騎馬戦も盛んでしたが、花形はなんと言ってもリレーで、全員総立ちになっての応援は、今も目に浮かびます。二部の連合運動会も福生校で行われました。やはり学校対抗リレーは花形でした。

**福生グラウンド** 昭和六年には福生グラウンドが出来、二部や郡の運動会はこのグラウンドに移り、全郡の児童で広いグラウンドをうめつくしました。

私達は先生に引率され、桑畑の中の農道を通りながら、体操や徒競走の練習をしました。

**招待リレー** リレーという昭和七・八年頃はとて強く、箱根ヶ崎の武蔵野小、八王子の二商、青梅の農林校などにいき、優勝旗をいただいてきました。校長室に飾ってある優勝旗が誇らしく見えました。私どもになると殆んど返してしまい実に残念でした。

### 堆肥舎と農場

農場では、ねぎ、大根、ほうれん草などを作りました。思い出は、肥桶に下肥を汲み二人でかついだこと。「糞尿を汲まざれば善農となるあたわず。」などと教えられました。

堆肥舎は物置と合わせになっていました。堆肥踏みは今でも目に浮かびます。下肥をかけた上を何回も踏みつけるのです。その氣持を察して下さい。「有機肥料が入らなければ、畑がやせてしまう。」と教えられたことが思い出されます。

リヤカーにねぎや大根、ほうれん草などの菜類等を積んで、学校近くの家に売りに行きました。近所のおばさんが待っていて買ってくれた思い出がなつかしい。

働いて得た作物でお金をいただくことの楽しさを知りました。得がたい経験です。

### 学校園

学校園は、明治四十二年（一九〇七）に七〇坪を予定地としましたが、翌四十三年（一九〇八）に四〇坪で始められたと記録にあります。明治四十五年（一九一〇）には、二三〇坪。大正三年（一九一四）には、二六五坪の大学校園となりました。恐らく二階建校舎附近一帯が学校園ではなかったかと思えます。

私どもの頃（昭和初期）には、西の一角が学校園になっていました。樹木の多い落着いた学校という印象が残っています。

### 奉安殿

明治二十四年（一八九二）四月一日教育勅語が下賜され、大正四年（一九一五）天皇陛下の御真影を奉戴し、奉安殿が校庭に建設されました。翌年（一九一六）十月二十八日には皇后陛下の御真影を奉戴したと記録にあります。

その後太平洋戦争終結後、昭和二十一年（一九四六）一月二十四日奉還するまで久しきにわたって、校庭の西南樹木の中に在りました。

四大節（一月一日、四方拝。二月十一日、紀元節。四月二十九日、天長節。十一月三日、明治節）には、全校児童が正面玄関から奉安殿まで二列にならび、その中を御真影と勅語が静かに進みます。児童は頭を垂れ礼をつくします。式では必ず教育勅語が奉読されます。君ヶ代の斉唱と式歌も必ず歌われました。

一月一日の年のはじめをもじった歌が子どもの間でうたわれていました。その頃の子どもの自由奔放な姿の一端がのぞけるかと思えます。

式を終え駄菓子を買った子ども達の中から、  
「年の始のためしとて 終りなきよのめでたさを  
松竹ひっくりけえして 大さわざ」

などと笑いながら大声で歌うこえが聞えました。まずは、あきれたものですが広く歌われていたようです。

私どもは、先生と一緒に多摩川に行き、白い丸い石を集めて運び奉安殿の敷石としましたし、卒業記念品選びでは二宮金次郎にしようか？ それは手が届かないなどと話し合って、勅語を乗せる三方を記念品として贈ることにしました。

### 多摩川と水泳

学校教育と多摩川は、切っても切れない仲でした。東多摩小学校時代は、相撲など遊びの場であり、運動場であり、運動会も川原で行われたそうです。

昭和初期には、多摩川を利用した水泳が毎年行われました。よしず張りの休憩所、見張台も設けられました。子どもにとっての夏の多摩川は実に天国でした。

### 教員住宅

住宅の先生には、よく遊んでいただき可愛がっていただきました。太陽が草花丘陵に沈むまで校庭でしゅう球をやったこともあります。先生と子どもが学校がひけてからもよく交流が出来たのもこの住宅があったからこそだと思います。二字型校舎を設計された岩村盛彰校長は、西多摩郡教育会誌第九「教育百話、一七、教員住宅」の項で次のように書かれています。





市見の学校生活の歴史

学級	学年	児童数		担任氏名
		男	女	
第一学級	尋一	六二	六一	清水 秀夫
第二学級	尋一	七二	六一	池田ひほこ
第三学級	尋二	七二	七二	田澤 きわ
第四学級	尋二	五〇	六七	遠藤はる子
第五学級	尋三	五〇	五〇	宿谷 博
第六学級	尋三	七〇	五七	宮本 淳一
第七学級	尋四	七一	七〇	大森 勝
第八学級	尋四	六一	六七	榊 マツ
第九学級	尋五	五一	五一	打江 輝治
第十学級	尋五	五二	五二	小林 幸作
第十一学級	尋六	六〇	六〇	西潟潤太郎
第十二学級	尋六	六六	六六	小澤 豊治

学級編成 昭和十年度

学級	学年	児童数		担任氏名
		男	女	
第十学級	尋五	四八	四〇	宇羽野松枝
第十一学級	尋六	三六	三一	細谷 俊雄
第十二学級	尋六	二六	三一	西潟潤太郎
第十三学級	高一	一四	六二	細谷勇太郎
第十四学級	高二	二五	三九	小尾 智三

学校長 福岡精一郎

前年度		昭一〇	
男	女	男	女
四九	四〇	五一	三八
二七	一六	二二	二四
四七	一五	一九	一〇
計	計	計	計

学級	学年	昭五		昭一〇	
		男	女	男	女
尋常科	二六	八六	一〇六	一四五	二〇四
高等科	五六	三八	七四	六三	三二
実業補習学校	三〇	一九	三九	一四	三二
青年訓練所	三三	三三	三九	一四	三二
計	計	計	計	計	計

卒業児童

学級	学年	児童数		担任氏名
		男	女	
第十三学級	高一	三五	二一	細谷勇太郎
第十四学級	高二	四三	一六	館 盛光

学校長 浜野幸作

保護者の職業

計	無業	商業	工業	農業	尋常科		高等科		実業補習学校		青年訓練所	
					昭五	昭十	昭五	昭十	昭五	昭十	昭五	昭十
五九九	二〇六	一〇四	一〇五	二一七								
七三四	一八三	一九二	一九五	二八三								
一〇一	一三三	二二二	二五五	五八								
一二六	一三五	三二二	三一五	三五								
二五	三	一	二	一七								
四五	六	二	三	二八								

高等科			尋常科			卒業後の状況
計	女	男	計	女	男	
昭十	昭五	昭十	昭五	昭十	昭五	
						女 中学高等
			七三	三二	四一	学実
			二四		二四	校業
						中其他
						等学校ノ
			五六	六二	二二	小高
一六	二五	八〇	九五	五二	四三	学実
三〇	一四	一六	一五	九〇	六五	業補
四六	三九	二二	八九	三八	五一	校習
						従業者
						合計